

平成22年度 平取地域イオル再生事業実施状況

1 空間形成事業

(1) 空間整備（コタンの再現）事業

アイヌ協会平取支部が主体となって、イオルの森等から必要な自然素材を採取・加工・利用し、チセを復元した。工程の折々には伝統儀礼（カムイノミなど）を実施した。

また、二風谷地区において、コタンの再現方針に基づき、基盤整備（修景緑化、バツタリ）を実施するとともに、ポロチセにおいて伝承活動を展開した。

- ・チセ等の復元
- ・コタン周辺の伝承の場としての整備と伝承活動の実践（トマ編み・イナウ製作体験）
- ・ポロチセの年間来客数 6,603名



(2) 試験栽培事業

イオルの森の現状を把握するため現況調査を実施するとともに、オヒョウの苗木を二風谷の苗畑に移植（694本）した。

また、丘畑において、ヒエ、アワ、キビなどの穀物を栽培、秋に収穫した。

本町地区の水辺空間においては、ガマを236株の移植、ヨシも大株法で4,320株移植するとともに、穀物の試験栽培も始めた。



2 空間活用事業

・体験交流事業

アイヌ文化伝承活動実践者及び伝承者が主体となって、コタン・イオルの森・水辺空間を活用し、体験交流事業を実施した（のべ参加者243名）

- (1) 山菜採取体験 5月
- (2) 雑穀栽培等応援隊 9月
- (3) 雑穀収穫体験 10月
- (4) アシリチェップノミ 10月
- (5) トマ編み体験 6月～10月
- (6) イナウ製作体験 9月



山菜採取体験【採取】



トマ編み体験【編み】



穀物の収穫体験【収穫】



アシリチェップノミの試行

3 空間の管理運営

平取地域のイオル事業全体について、総合的に運営管理するため、地域の実施計画のとりまとめや関係機関との連携調整を図った。

平取地域イオル専門委員会及び部会を開催した。

5月に、二風谷に、「アイヌ文化情報センター」が開設され、イオル事務所も同センターに移転し、イオル事業の紹介コーナーを設置し情報発信に努めた。